

平成 30 年度 指導者等養成研修事業（ボランティア自主企画事業）
「親子でピザ作り体験教室～手作り段ボールオーブンでピザを焼こう！～」事業報告書
企画指導専門職 尾家 義隆

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 親子で段ボールオーブンを作る段階からピザ作りをすることで、身近にある材料や食材でおいしいピザができることに気付くとともに、食事をつくる大変さを体験し、家族への感謝の心や自ら実践する心を育て、家族間の交流を深める。
また、ボランティアが中心となって事業を企画・実施することで、ボランティアとしての資質の向上を図る。
- (2) 期 日 平成 30 年 6 月 23 日（土）～24 日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 36 名（11 家族）
- (5) 担当職員 尾家 義隆（企画指導専門職） 山下 正晃（企画指導専門職）
前田 夢依（事業推進係員） 橋本 抄織（事業推進係事務補佐員）
佐藤 ゆり子（事業支援室事務補佐員）
- (6) ボランティア 田中 聖美 村上 美央 古川 真帆（九州ルーテル学院）
茶園 知行 木村 優成（熊本大学） 砂坂 智秋 山口 公平（熊本国府高校）
峯 碧希 後藤 ゆい（熊本市立千原台高校）
- (7) 内 容 【1日目】親子レクリエーション(アイスブレイク)※ボランティア自主企画
段ボールオーブンを作ろう！
絵本の読み聞かせ（こども）※ボランティア自主企画
くまもと「親の学びプログラム」（保護者）※阿蘇教育事務所との連携
【2日目】段ボールオーブンを使っておいしいピザを作ろう！
くまモンの草原アートで家族の記念写真を撮ろう！※ピザ生地が発酵する間のボランティア自主企画

2 成果と課題

(1) 成 果

- 参加者の感想で「子どもたちの『お手伝いしたい！』気持ちがうれしかったです。家でもやってみようと思います。」「オーブンを作るところから子どもと一緒に頑張れてよかった。」「最高においしかったです。家でも作ります。」などがあつた。身近な材料でオーブンを作ったことにより、家庭での実践のきっかけづくりになるプログラムになった。（満足 95%）
- 「初めて会う同じ班の方たちと仲良くなるきっかけになってよかった。」という参加者の感想から、他の家族との混合班でのレクリエーションが有効であったことがわかる。（満足 90%）
- 「日頃とは違った空間でゆったりしながらの講座、スーッと気持ちが入っていくのが実感で、素敵な時間でした。今後に活かしていきます。」という参加者の感想から、『くまもと「親の学びプログラム」』が有効であったことがわかる。（満足 87%）
- ボランティアの感想で「子どもたちと最終日には触れ合うことができ、満足しました。絵本の読み聞かせがいいきっかけになったと思う。」「全体の進行、参加者のサポートなど、うまく分担できたと思う。」「次は、もっと他のボランティアとコミュニケーションをとりながら活動をしたい。」などの感想があつた。ボランティアの学びの場となるとともに、今後のボランティア活動への意欲を高めることができた。

(2) 課 題

- 「とても良いイベントなのでもっと紹介を行ってもらいたい。」という参加者の感想から、メディアを活用した広報など広い範囲での周知を図る必要がある。
- 家庭での実践を目的として参加者に段ボールオーブンを持って帰ってもらったが、「段ボールオーブンは希望者だけ持ち帰りにしてほしい。」という感想があつた。来年度行う場合は希望者制も検討する必要がある。

3 事業の様子



ボランティアによる親子レクリエーション



ボランティア自主企画「絵本の読み聞かせ」



「段ボールオーブンを作ろう！」の様子



「段ボールオーブンを使っておいしいピザを作ろう！」の様子



くまもと「親の学びプログラム」の様子



閉会式での感想発表の様子